

令和4年度 指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	作州民芸館
(2) 指定管理者	所在地 津山市小田中1312-10 名称 城西まちづくり協議会 代表者 会長 高須 昌明
(3) 公の施設の所管部署	観光文化部歴史まちづくり推進室
(4) 指定期間	令和4年4月1日 ~ 令和9年3月31日
(5) 評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	令和4年度実績	対R3年度	令和3年度実績	対2年度	令和2年度実績
	来館者数 19,488人 貸室利用件数 133件	3,944人 61件	来館者数 15,544人 貸室利用件数 72件	331人 -33件	来館者数 15,213人 貸室利用件数 105件
(2) 事業の内容	①開館業務 ②貸室業務 ③自主事業 〔喫茶業務、販売業務、イベント関連業務（城西まるごと博物館、先達と行くおかげめぐり、しのめキッチン、野菜と魚の市、ジュニアプラス演奏会、城西雛めぐりワークショップ等）〕				

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	令和4年度実績	対R3年度	令和3年度実績	対R2年度	令和2年度実績
	総額 16,581千円	1,120千円	総額 15,461千円	-1,051千円	総額 16,512千円
内訳	内訳		内訳		内訳
指定管理料	2,880千円	-2,355千円	5,235千円	246千円	4,989千円
施設継続・再開事業助成金	千円	千円	千円	-20千円	20千円
利用料金	169千円	39千円	130千円	-21千円	151千円
自主事業（カフェ、物販）	13,374千円	3,431千円	9,943千円	-1,055千円	10,998千円
雑収入	158千円	5千円	153千円	-201千円	354千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	令和4年度実績	対R3年度	令和3年度実績	対R2年度	令和2年度実績
	総額 16,633千円	1,109千円	総額 15,524千円	-1,024千円	総額 16,548千円
内訳	内訳		内訳		内訳
人件費	5,328千円	-643千円	5,971千円	2,109千円	3,862千円
消耗費	483千円	244千円	239千円	-381千円	620千円
光熱水費	1,065千円	-26千円	1,091千円	63千円	1,028千円
通信費	157千円	千円	157千円	32千円	125千円
警備委託	172千円	千円	172千円	千円	172千円
備品費	千円	千円	千円	-1,257千円	1,257千円
修繕費	1千円	1千円	千円	-18千円	18千円
消防点検費	11千円	千円	11千円	2千円	9千円
保険料	64千円	千円	64千円	-11千円	75千円
会費	10千円	千円	10千円	千円	10千円
雑費	114千円	-189千円	303千円	191千円	112千円
自主事業費（仕入れ、人件費、材料費）	9,228千円	1,722千円	7,506千円	-1,754千円	9,260千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等	毎月の城西まちづくり協議会定例会で意見を聴取するとともに、昨年度設置した「まちの駅運営会議」を通じて、店舗運営の改善、商品開発に利用者の声を反映させた。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>喫茶・飲食事業について、前年度3月に開発を行った「とくもりうどん」の評判がよく、多くの方に食べに来ていただいている。また、地場の小豆と地元餅店の餅が入ったぜんざいは好評で名物の一つになっている。提供商品の価格が安いと、見直しが必要と考えている。</p> <p>販売事業について、弁当、地場農産物、農産加工品、パン、菓子類などの商品は引き続き人気で、来館者が広域に広がっている。特に山畑のサツマイモをはじめ、農産物は新鮮で安価のため人気である。県民局地域創生事業でエコバッグ、入浴剤、クリアファイルの商品開発をしたが、まだまだ情報が行き届いていないため、販売促進に力を入れる必要を感じている。</p> <p>イベントの実施、貸館利用については、コロナが落ち着き、イベント、ワークショップが通常に近い状況でできるようになってきた。来館者が増えることは販売促進に繋がるのでイベントには力を入れていきたい。また、民芸協会のワークショップには市外からの参加もあり、観光振興につながることを期待できる。貸館事業も徐々に通常の状況に戻ってきている。</p> <p>インフォメーション事業について、城西地区で作成した、おかげめぐりマップ、フォトスポットマップ、津山市が作成した重伝建マップは人気で、多くの観光客に観光案内している。「先達がいくおかげめぐり」の出発地に民芸館がなっているため多くの方に民芸館を知っていただく機会になっている。お客様への声掛け、対応などスタッフの資質向上が求められる。</p> <p>毎月作成している「まちの駅カレンダー」に弁当の献立を入れたところ好評で、電話予約が増え、販売促進になっている。カレンダーは城西まちづくり協議会のHP、町内回覧、店頭配布、Facebookなどで知らせている。</p> <p>今後は、建築物としての民芸館の良さを生かし、若い人のアイデアも取り入れてまちの駅の利活用促進につなげていきたい。</p>
(3) 市の評価	<p>令和4年度は新型コロナウイルスの影響があったものの、自主事業の工夫により、来館者数はコロナ前（令和元年度：23,933人）の8割程度まで回復している。地域資源を活用した商品・サービスの開発だけでなく、地元根付いたイベント展開や学校連携事業など、多岐にわたる取組を実施している。また、施設を起点に、城西地区全体の情報発信強化もなされており、高く評価できる。</p> <p>地域住民の世代を超えた交流の場として、広く受け入れられており、高齢者の見守りや商業以外の住民ニーズにも対応し、コミュニティ維持や活性化に寄与している。</p> <p>今後も、城西重要伝統的建造物群保存地区の拠点施設として、地域はもちろん観光客にも満足いただけるよう、情報発信やスタッフの資質向上、民芸館ならではの企画を推進し地域の活性化に努めてほしい。</p>